

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の今後の方針（案）等について

1 概要

国では、加速度的に進む少子高齢化・人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法を公布し、12月にまち・ひと・しごと創生長期ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略という。）を閣議決定している。また、令和元（平成31）年度をもって計画期間が満了になることから、令和元（平成31）年度中に次期総合戦略の策定を予定している。

本市においても、まち・ひと・しごと創生法で、地方自治体に対して各地域の実情に応じた計画を定めることが求められていることから、平成28年3月に八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、八潮市総合戦略という。）を策定した。八潮市総合戦略についても、令和元（平成31）年度をもって計画期間が満了になることから、次期八潮市総合戦略の策定について検討する必要があるが、国は、総合戦略を地方自治体の総合計画に位置付けることや現行の総合戦略の延長も手法の一つとして示し、計画期間を国の計画期間（令和2年度から令和6年度）に合わせる必要はないとしている。

2 今後の国及び埼玉県のスケジュール

国の次期総合戦略策定に向けたスケジュールは、令和元年6月21日に基本方針が閣議決定されており、12月には次期総合戦略の策定が予定されている。

埼玉県については今年度中に次期総合戦略の策定を予定しているが、スケジュール等は未定。

3 今後の方針

第5次八潮市総合計画において、基本計画は、「平成32年度に点検し、平成33年度に必要な応じて見直しを行う」とされていることを考慮し、第5次八潮市総合計画の見直しと次期八潮市総合戦略の策定の時期をあわせるため、八潮市総合戦略を令和3年度まで2年延長する。

八潮市総合戦略の延長にあたっては、新たな調査や計画の大幅な見直しは行わず、現行の八潮市総合戦略に位置付けられている事業の見直し及び、目標値等の再設定等を行うことで令和元（平成31）年度中に八潮市総合戦略の改定を行う。

4 次期八潮市総合戦略の策定

次期八潮市総合戦略については、現行の八潮市総合戦略の効果検証の結果を反映させ、本市を取り巻く環境を考慮するとともに、さらに重点的に取り組むべき施策を総合計画に位置付けられた施策の中から選択し、集中して取り組むことで、「平成37（2025）年度の将来目標人口10万人」の達成に向けた計画として策定する。また、第5次八潮市総合計画との整合性を図るため計画期間は令和4年度から令和7年度までの4か年とし、第5次八潮市総合計画上に位置付けることも視野に入れながら検討していく。

（参考）次期八潮市総合戦略策定にあたってのスケジュール

